

教師、親、生徒・学生、誰でも気軽に参加でき、明日の教育や子育てに役立つ研究集会

2010年 日本生活教育連盟第62回夏季全国研究集会

主催 日本生活教育連盟 第62回日生連夏季全国研究大阪集会実行委員会
後援 大阪府教育委員会 堺市教育委員会

研究主題 「今を子どもとともに生きる」—なかまとつながりいのち輝く学びを—

日時 2010年7月31日(土)～8月2日(月)

研究会場 **大阪府立大学** 〒599-8531 堺市中区学園町1番1号 TEL:072-252-1161(代表)
千代田高校 〒586-8577 大阪府河内長野市楠町西1090 TEL:0721-53-5281(代表)

| | | | | | | | | | | | | | | |
|--------|----|--------|----|-------|---------------------|--------|---------------|--------------|---|---|---|---|---|----|
| 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 |
| 30日(金) | | | | | 拡大常任委員会(府立大学) | | 分科会世話人会(府立大学) | | | | | | | |
| 31日(土) | 受付 | 生活教育講座 | 昼食 | 開会全体会 | 移動 | 実技実践講座 | 移動 | 会員総会(府立大学) | | | | | | |
| 1日(日) | 受付 | 分科会① | | 昼食 | 分科会② | | 移動 | レセプション(府立大学) | | | | | | |
| 2日(月) | 受付 | 分科会③ | 移動 | 開会全体会 | オプションツアー Aは日帰り Bは1泊 | | | | | | | | | |

・ごあいさつ・

大阪で学び合いましょう つながり合いましょう

日本生活教育連盟第62回夏季全国研究集会 実行委員長・大阪教育大学教授 **久田敏彦**

日本生活教育連盟(日生連)は、1948年にコアカリキュラム連盟として発足して以来、民間教育研究サークルの草分け的な存在として実践・交流・研究を重ねてきました。手弁当で、理論と実践をしっかりと結びつけて、そして自由闊達に、生活教育を中心に探究してきました。毎年、夏季全国研究集会在各地で重ね、数えれば、今年で62回目を迎えます。

今年の研究集会は、大阪で開催することとなりました。大阪の実行委員会が主催するのは、4回目になります。全国のみなさんにとっていただき、大阪でゆっくりといてほしいに学び合い、つながりあえるよう着々と準備しておりますので、どうぞ多くの方々にご参加いただけますようお願い申し上げます。

いま、子どもたちが背負っている現実にはたしかに重く厳しいものがあります。虐待、ネグレクト、マルチリトメント、貧困、遊びや教育の商品化、暴力、競争など、枚挙に暇がないほどの世界に投げ込まれています。しかし、だからこそ、生活や学びのなかで仲間とつながり、仲間とつながるなかで生活と学びの主体として子どもを育て、生きる力を育む実践が豊かに繰り広げられています。大阪集会では、「つながる」、「学ぶ」、「生きる」をキーワードに、こうした各地の実践を交流し合いたいと思っています。また、今集会では、大阪で輝いている高校生の登場や、文化と生活を子どもとともに創造する学童保育の取り組みとの連携も企画しました。是非聞いてみたいと思われている各講師の講座ともども、ご期待下さい。

日頃の実践を交流し、悩みも語り合い、若い教師もベテランも、そして保護者もあらためて教育への希望に確信がもてるような集会にしていきたいと思っています。大阪でお会いできることをこころより楽しみにしています。

豊かな子育てと教育の実践を紹介し交流する月刊誌「生活教育」をおすすめします

(毎月20日発行 1年定期購読 郵送料込9600円)

日本生活教育連盟 世田谷区桜2-18-18 和光小内 (03) 3420-4353 <http://nisseiren.jp>

開会全体会 7月31日(土) 13:00～15:45

13:00 開会のごあいさつ

~~13:10~~ 現地基調実践報告「虫からひろがる学びの世界」
本郷佳代子(吹田市立小学校教諭)

~~13:30~~ 記念講演「思春期を見通した子育て教育」～子どもと大人の“ねがい”をつなぐために～
廣木克行(千代田学園園長)

~~15:00~~ 文化行事「ぼくたち堺っ子のハーモニー」元気な子どもたちが舞台に出演します。

生活教育講座 7月31日(土) 10:00～12:00

- ①「生活教育」とは 行田 稔彦(和光学園校長代表/日生連委員長)
- ②子どもと深める命の授業 金森 俊朗(北陸学院大学教授/日生連拡大常任委員長)
- ③学ぶ意欲を育てる算数の模擬授業 渡辺恵津子(埼玉県公立小学校教諭/日生連研究部員)
- ④特別なニーズを持つ子どもと教育 竹澤 清(中部学院大学非常勤講師/日生連拡大常任委員長)
- ⑤高校生発 学ぶ権利を考える 大阪の高校生に笑顔を下さいの会OB OG
- ⑥子どもも先生も楽しい地域学習 小松 清生(堺市立東浅香山小学校)
- ⑦学童保育の実践に学ぶ—学校と学童がつながるために— 伊藤真美子(大阪学童保育連絡協議会)

実技実践講座 7月31日(土) 16:00～18:00

- ①子どもと楽しむ手作り(工作と染物) 本郷佳代子・海野万万恵(日生連大阪サークル)
- ②竹でおもちゃを作る 友田章二郎(吹田竹遊び塾塾長)
- ③子どもと劇づくりを楽しむ 松本喜久夫(日本演劇教育連盟)
- ④教室で楽しむ手品 内海 寛治(堺市 小学校教員)
- ⑤作って飾ろうユニット折り紙
—子どもの手指のしなやかさを育てる— 内 丸 敏朗(太子橋第一学童)
- ⑥民舞 岸和田だんじりの踊り「けやきのかみ」を踊ろう 池田 達之(堺市立八上小学校)
- ⑦「紙芝居と小話」を楽しもう 野間 成之(のまりん紙芝居劇場代表/日生連拡大常任委員長)

閉会全体会 8月2日(月) 11:30～12:30

- 講 演 「子どもの笑顔をひきだす生活教育」
久田敏彦(大阪教育大学教授・第62回夏季全国研究集会実行委員長)
- 特別出演 千代田高校の生徒のみなさん

オプション企画ツアー 8月2日(月) 午後出発

- Aコース 堺の地域学習を学ぶフィールドワーク
2日(月) 13:00 千代田高校出発 → 31日の講座と連動して(詳細は当日) → 解散堺市内 18:00頃
- Bコース 天神崎トラストツアー
2日(月) 13:00 千代田高校出発 → 京大白浜水族館 → 南方熊楠記念館 → 白浜 湯崎館泊
3日(火) 9:00 天神崎 日和山散策 タイドプール自然観察 → かんぼの宿で昼食(温泉) → 関西空港 16:30 → 新大阪駅 18:00

分科会 8月1日(日)～2日(月)

| | 分科会 | 分科会の研究テーマと予想される討議の柱 | 世話人(太字は代表) |
|---|-------------|--|--|
| 1 | ことばと教育 | 子どもが求める読み・書きの力 ①豊かな「ことばの体験」をつくる入門期・低学年の学習 ②子どもの学びを拓く「読み」「書き」の学習 ③表現から読みとる現代の子どもの世界 ④現代の子どもの生活や意識と切り結ぶ作品の紹介とその検討 | 本谷 宇一 野間 成之 金田一清子 鎌倉 博 河瀬 照代 桑原 英代 近藤 秀子 川崎 陽一 |
| 2 | 算数・数学 | 子どもと拓く算数・数学 ①学びを作り出す基礎基本の力とは何か ②子どもとともに算数・数学の学びを創る ③学びあいの中での認識の変化 ④生活と算数の結びつきと教育課程 ⑤学びを作り出す指導法と教具 ⑥確かな学びと少人数指導のあり方 | 関 忠和 行田 稔彦 増島 高敬 渡辺恵津子 長谷川京子 本郷佳代子 稲打 八郎 入沢 雅代 土野 久男 儀間 奏子 石川 義人 |
| 3 | 社会科 | 子どもと共に社会を学び希望を育む ①その実践で子どもが知りたいこと・学びたいこと ②討論・交流の場の設定と共通課題・個人課題の誕生 ③実践で生まれた学びと生きる喜び・希望 ④子どもの主体的な学びを支える教師の指導性 | 金森 俊朗 外山 英昭 外山不可止 松村 一成 田所 恭介 北川 茂 加藤 博之 杉見 朝香 徳水 博志 下島 孝 |
| 4 | 自然と科学・技術・産業 | 新しい社会・地域・生活をつくる 「自然と科学・技術・産業」の教育 ①日常生活の中で萌生する 《自然と科学・技術・産業》への関心の活用 ②理科・数学・技術科などトリタテた教科での 《自然と科学・技術・産業》(国語科・社会科なども含む) ③新しく生まれつつある社会＝共生経済との関連(地域づくり) ④大学の教育や最先端の研究とのつながり(科学の系統性) ⑤科学的概念とあそび・生活の中でつけた力(発達構造との関連) | 田辺 基子 松本 達郎 伊東 裕子 |
| 5 | 生活科学と習 | 学び合う「価値」と「喜び」を実感できる 生活科と総合学習を拓く ①仲間や文化・科学とつながり、生き活きた学び合いを創る生活科・総合学習～「価値ある学び」を育む「ひと・もの・こと」との出会いを探る ②「いまを生きる」子どもたちの“習”を拓く生活科と総合学習～「いのち」「平和」「人権」「環境」「共生」を育む実感ある学びの探求 ③豊かで確かな人格形成をめざす生活科・総合学習の教育課程づくりの探求～「地域」「生活」に根ざした“学び合い”の創造と“ほんど”の道徳性の探求 | 小川 修一 曾根 啓維 藤原 共子 金馬 国晴 野上ゆみ子 栗原 伸 和田 仁 谷保 裕子 齋藤 忍 村越 含博 |
| 6 | 異文化・国際理解教育 | 多文化・多言語の学び合いと国際交流を通じて 共生文化の主体に育つ ①アイヌ文化、琉球文化、世界の〇〇文化と出会う教育実践から教育課程づくりへの道筋を考える ②韓国・中国などアジアとの交流を通じて共生文化の主体はいかに育つのか ③「外国語活動」としての英語教育の実態と課題を確認する ④アメラジアン、日系ブラジル人、在日外国人、帰国子女等の子どもの生活現実から学び合いを立ち上げる | 田村 真広 高田 哲郎 大滝 修 長堂登志子 迫田 実 北川 茂 |

| | 分科会 | 分科会の研究テーマと予想される討議の柱 | 世話人(太字は代表) |
|----|----------------|--|---|
| 7 | 音楽の教育 | 生活に根ざしつながり合える楽しい音楽教育を目指して ①音楽教育をめぐる問題点と現状 ②楽しく気持ちよく歌える歌唱・合唱教材 ③わらべうたから始まる音楽教育 ④あそびながら心を育てるうたあそび教材 | 繁下 敏子 宮武 孝太 |
| 8 | 小学校の生活指導 | 親と子と教師が「安心・自信・自由」で繋がれる学級・学校 ①「不登校・登校拒否・いじめ・暴力」等に見られる子どもたちの疎外状況を克服する指導 ②「荒れる子」「キレる子」の内面と背景を大切にしたい生きる意欲を育てる集団づくり・文化活動 ③父母・地域の人々との共同による学級・学校づくり ④子どもと教師が本音を出し合い、遊び心で繋がれる学級・学校づくり | 伊藤 邦夫 宮城アケミ 木村 隆 小林 幸一 木村 久男 三上 泉 阿部 賢 |
| 9 | 幼年教育と小学校入門期の教育 | 幼年期の発達を保障する教育は ①幼年期に体験させたい豊かな自然とのかかわりや人とのつながり ②五感をはたらかせ、ゆたかな体験からことば・表現を育む(話し言葉、書き言葉、伝え合う言葉や表現) ③このごろの子ども、生活、親、地域の実態と、共に課題を克服する手立て ④小学校入学前教育と入学後の教育の関連・連携 | 中河原良子 山田 隆幸 片岡 隆之 永田 都 久保 咲子 廣野 梢 小川 信子 |
| 10 | 中学・高校・大学教育 | 中高生の発達・学力課題は ①思春期の子どもたちの実態を明らかにする中で、私たちがめざす学力の中身や発達課題を明らかにしよう ②つながり合い・支え合う子ども集団・学級集団づくりを探っていく ③子どもの参加と自治による学校づくりを探っていく ④教職員の協力体制で職場の教育力を高めよう | 浦島 清一 三村 和則 両角 憲二 木村 勝保 鈴木 恵子 奇藤 正 早野 宏樹 |
| 11 | 障がい児教育 | 生活と学習の主体者を育てる障がい児教育 ①子どもをどうとらえるか(「問題行動」と子どもの内面理解) ②教育内容をどうつくるか(基礎的・日常的な生活活動/科学や文化の学習/文化集団活動) ③「特別支援教育」の流れの中で、学級・学校・父母集団・地域をどうつくるか | 竹沢 清 岸 康裕 内藤 良一 竹田 一博 加藤登美子 井関 美季 |
| 12 | 能力・発達と価値 | 子どもたちの学びをとらえるまなざし ～多様な実践に見る教師のみと ①学習指導要領等の諸制度の改革と発達と評価をめぐる新たな課題を共有する ②子どもの学びに迫り得たいくつかの実践報告をもとに教師の評価観・子どもの能力観を検討する ③生活教育実践史における教師による子どもの学びのとらえやみとりを改めて振り返る | 藤本 和久 古沢 常雄 前田 賢治 横田 文夫 横山 尤子 本田 功 原田 宏美 吉越 良平 大島 崇 |
| 13 | 教育と子育て | つながり合って育つ ～子ども、教師、保護者・学童指導員・地域の支え合い ①いじめ・不登校・荒れ・少年事件・発達障害等の捉え方と取り組み ②現代の子ども・青年の発達のゆらぎと支援のあり方 ③子どもの居場所としての学校、家庭、学童保育、地域の役割(虐待問題への対応) ④学校と家庭、学童保育の役割を生かした実践交流や支え合いをどう図るか(援助者への支援) ⑤子ども、教師、学童指導員、保護者が求めるつながりの実態と教育・子育ての目的 | 春日井敏之 森川 紘一 望月 彰 江口美和子 山岡 雅博 小川 裕子 齋藤 博孝 |

事前申込み事項

《費用》

①参加費 教職員・元教職員…………… 6,000円
 一般(父母・学生・学童指導員等) …… 3,000円

- 記念講演料・会場使用料・大会冊子・「生活教育」見本誌・ご案内資料・運営諸経費の料金です。
- 日本生活教育連盟2009年度登録会員は500円引きです。
- 1日だけの参加の方は教職員3,000円(一般は1,500円)です。
- 当日参加受付は可能ですが、会場準備の都合上事前申込みにご協力下さい。

②昼食代 1食…………… 800円
 ●飲み物付きのお弁当です。
 ●7月31日・8月1日のみ購入できます。

③レセプション代
 大人・中学生以上…………… 5,000円
 幼児・小学生…………… 2,500円

- レセプションは夕食を兼ねた交流会です。
- 楽しい出し物など多数繰り出すイベントですので、どうぞご参加下さい。
 アルコール類・ソフトドリンクなどの飲み物ができます。
- 事前申込みをお願いします。

④子ども学校・保育室料 実費(申込書参照)
 ●事前申し込みを原則とします。(締切7月10日)
 ●「子ども学校」は小学生のみ、保育室は3歳以上の幼児が対象です。
 ●費用の中には、おやつ代・活動費が含まれています。
 1日(日)のみお弁当が付きます。
 ●活動内容によっては、入館料等の実費を追加徴収させていただきます。

⑤オプション企画ツアー 実費(申込書参照)
 ●Aコースは昼食のお弁当代金です。(800円 飲み物付き)
 参加者はその後、移動の電車代、見学する施設によっては入館料等2,000円程度の費用が必要です。

- Bコースは昼食弁当(2日)・バス代・1泊2食・入館料・3日昼食代28,000円(小人17,000円)
 - Bコースは25名になり次第締切とさせていただきますので早めにお申込み下さい。
 - *Bコースは申し込みが15名に満たない場合は実施を見送る場合があります。
- 申し込み締め切り 7月10日

⑥宿泊費 実費

●宿泊は下記の3つのホテルになります

シティホテルサンブラザ
 〒590-0972 堺市堺区竜神橋町1-1-20
 Tel.072-222-6633

シティホテル青雲荘
 〒590-0833 堺市堺区出島海岸通2-4-14
 Tel.072-241-4545

ホテルサンルート堺
 〒590-0960 堺市堺区少林寺町西1-1-1
 Tel.072-232-0303

- シングル料金 8,500円
 ツイン料金 7,500円
 *いずれも1泊朝食付き。ホテルから大会会場までの送迎バス料金を含んでいます。
- 部屋割は実行委員会にご一任願います。同室ご希望の方がいらっしゃる場合は必ず「備考」にその旨書き入れて下さい。

《キャンセル》

- キャンセルにつきましては、一定のキャンセル料をいただくことになります。キャンセルが必要になりました場合は、すぐに「国際トラベルオーサカ 馬部さん」までご連絡下さい。
- キャンセル料は、以下の通りです。
 20日目～8日目…20% 当日(旅行開始前)…50%
 7日目～2日目…30% 旅行開始後……………100%
 前日……………40%
- 参加費につきましてはお返しできません。後日大会資料をお送りいたします。

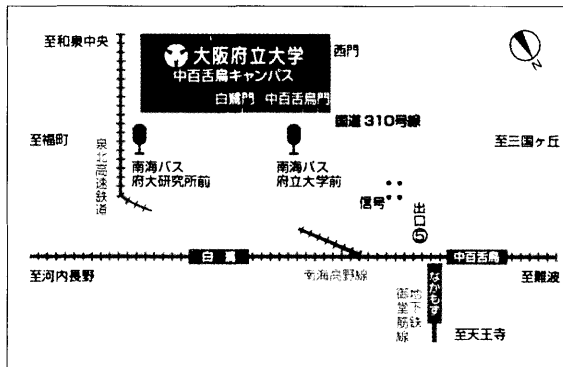
申込方法

- 銀行振込 必ずこの申込用紙をファックスして下さい。
振込先 三菱東京UFJ銀行 天六支店(普通) 369244
- FAX送付先 06-6375-4621 国際トラベルオーサカ 代表:馬部和夫
 *お振込の際はお名前の前に 62 をつけてください。例) 62 ニッセイハナコ
- 現金書留 必ずこの用紙を同封して下さい。
送附先 国際トラベルオーサカ 「日生連全国集会」
 〒530-0022 大阪市北区浪速町14-33 OMビル205号室
 Tel.06-6375-4620

《その他》

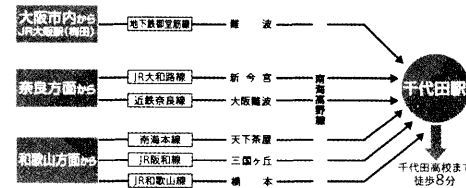
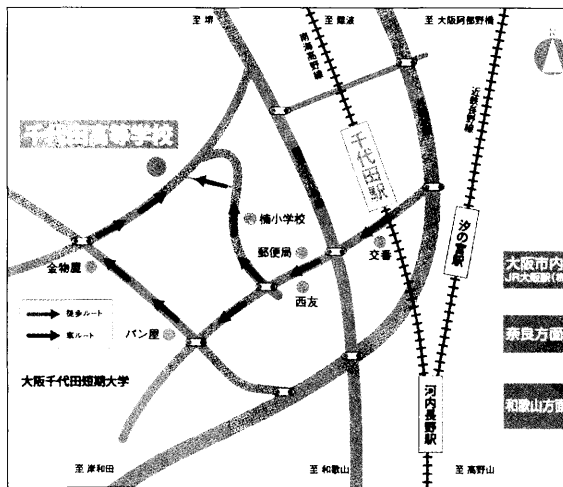
- 分科会にレポート参加を予定されている方は、日生連事務局に、7月25日までにご連絡ください。
 電話042-736-0036 (和光鶴川小:和田) FAX.042-737-7125
 e-mail: QWU01073@nifty.com
- レポートを郵送される方は、「日生連大会資料」と明記され、下記までお送りください。
 送付先 大阪府立大学人間社会学部 望月 彰
 〒599-8531 堺市中区学園町1番1号 Tel.072-252-1161 (代表)

会場案内



大阪府立大学中百舌鳥キャンパスへのアクセス

- 地下鉄御堂筋線 なかもず駅
- 南海高野線 中百舌鳥駅(白鷲駅)
- JR阪和線 三国が丘乗換→南海高野線 中百舌鳥駅(白鷲駅)
- 地下鉄御堂筋線 なかもず駅



《問合せ》

- 研究集会の企画 日生連事務局長 和田 仁 042-736-0036 (和光鶴川小)
- 大会参加 現地事務局長 井関美季 072-254-6678 (自宅)
- 宿泊 国際トラベルオーサカ 馬部和夫 06-6375-4621 (会社)

第62回日本生活教育連盟夏季全国研究大阪集会申込書

*HP

- ・該当する欄に人数を記入して下さい。
- ・お仲間と同時に申し込む場合も、お名前は1人ずつ明記して下さい。

送金金額

| | |
|-----------|-------------------------------|
| お名前 | フリガナ () 男・女 ※受付番号 (旅行センター記入) |
| | 宿泊される方はご記入下さい () 歳 |
| ご自宅 | 住所 (〒) |
| | 電話 FAX |
| | e-mail : |
| 勤務先 | 勤務先名 |
| | 電話 () |
| 分科会希望番号 | 生活教育講座希望番号 実技講座希望番号 |
| 同伴家族・お仲間名 | 氏名 性 歳 氏名 性 歳 |
| | 氏名 性 歳 氏名 性 歳 |

| | | | |
|-----------|-----------|------|-------------------|
| 日生連会費 | 登録更新・新規加入 | 4000 | 2010年度(～2011年8月)分 |
| 『生活教育』購読料 | 年間購読料 | 9600 | 送料込み2010年4月～11年3月 |
| | 半年購読 | 5600 | 送料込み2010年9月～11年3月 |

| | | | |
|-----|-------------|------|----------------|
| 参加費 | 教職員 | 6000 | 退職者も含む |
| | 父母・学生(教員以外) | 3000 | |
| | (日生連会員)教職員 | 5500 | 2009日生連会員名簿掲載者 |
| | (日生連会員)一般 | 2500 | 2009日生連会員名簿掲載者 |
| | 1日のみ参加(教職員) | 3000 | |
| | 1日のみ参加(一般) | 1500 | |

| | | | | |
|-----|--------|-----|---|-------|
| お弁当 | 31日(土) | 800 | 人 | 飲み物つき |
| | 1日(日) | 800 | 人 | 飲み物つき |

| | | | | |
|-----------------|-----|------|---|--------|
| 1日(日) レセプション | 大人 | 5000 | 人 | 中学生以上 |
| | 子ども | 2000 | 人 | 幼児・小学生 |

| | | | | | |
|-------------------|---|----------|-------|---|--------|
| 2日(日) オプションツアー | A | 参加費(大人) | 800 | 人 | 中学生以上 |
| | | 参加費(子ども) | 800 | 人 | 幼児・小学生 |
| | B | 参加費(大人) | 28000 | 人 | 中学生以上 |
| | | 参加費(子ども) | 17000 | 人 | 小学生 |

| | | | | |
|------------------|---------------|------|-----|------------|
| 子ども学校 (小学生のみ) | 31日(土)13時～18時 | 1500 | 人 | 活動費・おやつ |
| | 1日(日)9時～18時 | 3000 | 人 | 活動費・おやつ・昼食 |
| | 2日(月)9時～12時 | 1000 | 人 | 活動費・おやつ |
| 保育室 (3歳～就学前) | 31日(土)13時～18時 | 1500 | 人 | 活動費・おやつ |
| | 1日(日)9時～18時 | 3000 | 人 | 活動費・おやつ・昼食 |
| | 2日(月)9時～12時 | 1000 | 人 | 活動費・おやつ |
| 利用幼児・児童名 | 氏名(カタカナ) | | 男・女 | 歳 |
| | 氏名(カタカナ) | | 男・女 | 歳 |

| | | | | |
|-----|------------------------|-----|------|---|
| 宿 泊 | シングル 朝食付き (送迎バス) | 30日 | 8500 | 人 |
| | | 31日 | 8500 | 人 |
| | | 1日 | 8500 | 人 |
| | ツイン 朝食付き (送迎バス) | 30日 | 7500 | 人 |
| | | 31日 | 7500 | 人 |
| | | 1日 | 7500 | 人 |

〈備考〉ご連絡・ご要望事項がありましたらお書き下さい。

申込方法

- 銀行振込 必ずこの申込用紙をファックスして下さい。
振込先 三菱東京UFJ銀行 天六支店 普通 369244
*振り込みの際、お名前に62をつけて送金してください 例)62ニッセイハナコ
- FAX送付先 06-6375-4621 国際トラベルオーサカ 代表:馬部和夫
- 現金書留 必ずこの用紙を同封して下さい。
送付先 国際トラベルオーサカ「日生連全国集会」
 〒530-0022 大阪市北区浪速町14-33
 OMビル205号室
 Tel.06-6375-4620

《問合せ》

- 研究集会の企画
 日生連事務局長
 和田 仁 042-736-0036 (和光鶴川小)
- 大会参加
 現地事務局長
 井関美季 072-254-6678 (自宅)
- 宿泊・航空機
 国際トラベルオーサカ
 馬部和夫 06-6375-4621 (会社)